



2月となり、3年生は家庭学習期間に入りました。1・2年生にとって3学期は、新学年の「0学期」として、来年に向けた準備や自分のことを考える期間とされます。自分の進路や課題について、しっかりと考える時間を取りましょう。全ての答えは出ませんが、考え続けることで「自分の答え」を少しずつ作り上げていくのです。考え抜いた答えには、あなたの「想い」が込められるので、やる気が湧いてくる源になりますよ。

「社会人基礎力」の3つの能力、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力から、今回は「考え抜く力」を取り上げます。「考える」と書くと、一言で表せますが、「考える」とは何を意味するのでしょうか？

何か上手いかなかったときに、「どうしたらいいですか？」と聞くのが最も労力はかかりません。「こうしたらいいよ」と解決策を言われてその通りに動くと、そこそこ上手いいきます。しかし、生きていく中で発生する問題は、すぐに解決策がでるものばかりではありません。誰に聞いてもわからない問題、初めて発生した問題、自分で解決するしかない問題など様々です。

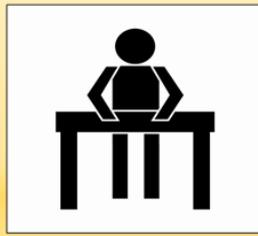
試合で勝つために必要なことを考えてみましょう。体力を向上させるのか、技術を身につけるのか、チームプレーを磨くのかなど、様々な要素を**考えない**といけません。また、試合で勝つという目的が、1回戦を勝つのと、ベスト8をかけた試合で勝つのでは、**考えるべきこと**も変わってきます。課題が何なのか探して決める(課題発見する)ことから**考える**ことが始まるのかもしれない。

その上で、いつ何をして、どう成長する予定なのか計画を**考えなければ**なりません。技術を身につけるために、今日何をするのか、明日は？、1週間後は？、1ヶ月後は？、そのときにどの技術が、どのレベルでできるようにしたいのか**考える**のです。

体力を向上させるための「走る」というトレーニングも何種類もあります。体力をつけるために練習試合で最後まで走りきる、攻守の切り替えを早くするためにターンを混ぜて走る、などです。試合を想定して、自分たちに必要で、目的を意識したトレーニングを新しく**考え出す**と、苦しいトレーニングが達成感のあるトレーニングに変わるのかもしれない。このように、「考える」は多岐にわたります。

『考え抜く力 (Thinking)』

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

「全ての課題解決は、課題を認識することから始まる」

体育科・サッカー部監督 迫 宏一

これは、私が教育や指導に携わる上で常に意識していることです。簡単に言えば、「そもそも問題を解決するためには、何が問題なのかをきちんと理解しないとダメですよ」ということです。皆さんも日々の生活の中で「考える」と言われたことがあると思いますが、その瞬間に「何を考えるべきか」をきちんと理解していますか？「考える」と言われ「ハイ！」と元気よく返事をしたものの、何を考えないといけないのか理解できておらず、また同じことで注意を受ける。そんな光景が学校中のいたるところで繰り返されている気がします。本題からは少し外れますが、この条件反射的で判断の伴わない返事(多くの場合は「ハイ！」)は、全く意味がありません。むしろ無責任です。わからないなら「わからない」、できないなら「できない」とはっきり言うべきです。

そして実は、この「わからない」や「できない」が、あなたの「課題」なんです。自分は何がわからなくて何ができないのか、

それが見えてくれば、「じゃあ、どうやったらできるんだろう？」と考えることができませんか？自分自身の「わからない」「できない」「こうなりたい」を言語化することは、とても大切です。「言語化する力がある」と言うことは、「行動する力がある」と言い換えてもいいと思います。

サッカー部の「あるある会話」を例に挙げてみましょう。

(練習中、上手いいかない状況の中・・・)
監督：「今の状況どう思う？」
選手：「ダメだと思います」
監督：「いやいや、「ダメ」なのは見りゃわかる。それは思ってることじゃなくて、誰が見てもダメなのよ(現象)。そうじゃなくて、その「ダメ」な状況がなぜ起こっている(原因)、それに対してどう思うか(解決策)を聞いてんの」

選手：「・・・」
監督：「だから、そこを考えないと」

選手：「はい」
監督：「じゃあ、どうすんの？」
選手：「・・・？」
監督：「あなの、・・・(以下、無限ループ)」

選手は一生懸命頑張っています。頑張ったけど上手くプレーできない(現象)。では、どこに問題があって(原因)、どうすれば上手くいくのか(解決策)、そこを考えないとダメです。

みなさん、「上手いいかない」で終わっていませんか？「上手いいかない」と感じられたら、それはチャンスです。課題は解決すれば、それがそのまま全部自分の成長になるんです。「上手いいかない」に出会った時こそ、「なぜ」「どうすれば」を考えていくことが大事です。これが習慣化されれば、「課題を認識した時点で半分は解決した」と言っているレベルになるでしょう。

だから、**「上手いいかない」に負けるな、球磨工生！！頑張れ！！**

降りてはこないから拾い上げるのだ

地歴公民科 菊池 公成

「ポイ捨て大歓迎!？」

インドにはゴミのポイ捨てが喜ばれる地域があります。住民はもちろん、時には旅行客までも道ばたにゴミを捨てていきます。なぜでしょう？

実はこの地域には、貧しさゆえにゴミ拾いで生計を立てている人々が多くいます。そのため、街がきれいになれば人々は職を失い生活ができなくなってしまうのです。

「人の命はおいくら!？」

ロシアのシベリア地域では、大規模な森林火災が起きてても消火活動があて行われないことがあります。なぜでしょう？

実は人があまり住んでいない森林地域では損害よりも消火費用の方が高つくのです。損害と費用を比べたときに、お金がかかるという理由で人命を救えないこともあるのです。

「マリファナは吸っても OK!？」

日本では、所持・栽培・使用が法律で禁止されているマリファナ(大麻)ですが、使用が許されている国があります。なぜでしょう？

これは、合法化してマリファナに税金をかければ、闇ルートで売買する犯罪組織に流れるお金が逆に多額の税収へと変わって国を潤すからだとされています。

これらの事例を考えると、いったい正義はどこにあるかわからなくなりますよね。何がベストなのでしょう？そこで次は解決できた事例を紹介いたします。

「ミサイルじゃ変えられない。」

アフリカのソマリアという国の沖合には、海賊(海上で武装した略奪集団)が多く出没して、商船や石油タンカーがよく襲われていました。関係諸国は軍艦や掃討船を配備し、武力によって取り締まりましたが、被害は増える一方でした。なぜでしょう？

実はこの海賊たち、紛争や津波の被害によって職を失ったもとは善良な漁民でした。通常の生活ができなくなったために仕方なく海へ出て略奪によって生計を立てていたのです。そこで大手すしチェーン「すしざんまい」の木村清(きむらきよし)社長は、この状況を受け現地の海賊に漁船を提供し、漁や調理、販売の技術を教えました。漁業によって生計を立てられるように支援活動を始めたのです。「ミサイルで海賊は一掃できない。」と、対立する武力ではなく人々に寄り添った教育と支援によって課題を解決しました。現在では海賊による被害はほとんどなくなっているそうです。

課題解決には知識や経験はもちろん、新しいアイデアをひねり出すことが必要です。アイデアとは偶然天から舞い降りるものではなく、日常に散りばめられているヒントを拾い上げて創り上げるものです。つまり「アイデアをひねり出す」ことは、「今あるもの同士の新しい組み合わせを考え抜く」ことなのです。

授業や部活動には、アイデアを創るヒントがたくさん潜んでいます。目をこらし、耳をすませ、時には鼻をかかせてヒントを探してみてください。

2月の行事予定表

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
3 前期(特色)選抜 【終日：家庭学習】	4	5 工業基礎学力テスト(2年M・A・C科) 美化コンクール(～12日)	6	7 【短縮日課】 午前：金①②③ 午後：家庭学習	8	9
10	11 建国記念の日	12 3年生登校日	13 学年末考査(1・2年) 後期(一般)選抜出願(～18日正午まで)	14 学年末考査(1・2年) 学校保健委員会	15	16
17 学年末考査(1・2年)	18 学年末考査(1・2年)	19 出願変更(～25日まで)	20	21 ⑤⑥進路ガイダンス(2年)	22	23 天皇誕生日
24 振替休日	25 代休(2/29)	26 【月曜日課】(検)英語	27 【火曜日課】 短縮日課 服装検査	28 【水曜日課】	29 午前：金⑤⑥授業 午後：卒業式予行	1 卒業式 1年：家庭学習
2 代休(3/1)	3 (検)数学	4 短縮日課	5	6	7	8